

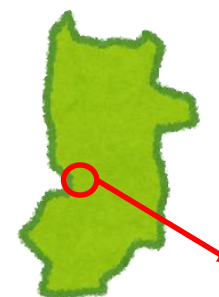
## 取組の概要

取組の概要 : カキ選果場の機能向上  
 計画作成主体 : 五條市地域農業再生協議会  
 対象品目 : カキ (産地面積 : 638ha)  
 取組主体 : 奈良県農業協同組合  
 成果目標 : 10a当たり販売額の10%以上の増加  
 助成金の活用 : 整備事業 (集出荷施設)  
 状況

## ポイント

カキ選果施設の処理能力の向上と選果機能の高度化で、秀品率の向上を図ることにより、販売額10%以上の増加を実現。

## 地区の概要



奈良県  
五條市  
西吉野地区

## 産地の現状と目標

〈現状:H27年度〉

作付面積:638ha(出荷数量:11,060t)  
 処理能力:189t/日

〈目標:H30年度〉

作付面積:638ha(出荷数量:11,146t)  
 処理能力:217t/日



## 推進体制

地域の関係者(五條市、奈良県農業協同組合、奈良県南部農林振興事務所等)が一体となり、事業を推進。

## 地域における独自の取組

〈主な取組〉

○ 内部品質センサーによる糖度等の品質データを生産者にフィードバックし、産地の高品質果実生産に向けた取組につなげる。

〈県・市町村単独事業〉

(県) 品質によるブランド化を推進するため、内部品質センサー導入に対し県単独事業を実施。

(市) 本市農業の基幹作物である柿の選果場整備事業に対し、市単独整備事業を実施することで柿のブランド化や地域雇用を推進。  
 また、柿振興室を設置し、柿振興施策をフォローアップ。

## 事業効果

○ 選果施設の機能向上  
 ピーク時の収穫量に対応するため、処理能力を向上。さらに、高機能外部品質センサー等を導入し、高品質果実出荷を実現。  
 販売額の増加により、生産者の所得向上につながり、五條市西吉野地区の産地強化を実現。

～カキの販売額～  
 (10a当たり)

